

みずほCustomer Desk Report 2017/11/01号(As of 2017/10/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.02	1.1651	131.70	0.9949	1.3210	0.7696
SYD-NY High	113.73	1.1661	132.56	0.9994	1.3289	0.7700
SYD-NY Low	112.96	1.1625	131.52	0.9944	1.3193	0.7640
NY 5:00 PM	113.65	1.1646	132.32	0.9976	1.3284	0.7655
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close LVI)	7.525/7.845	△25RR	0.740	Yen Call Over		

NY DOW	23,377.24	28.50				
NASDAQ	6,727.67	28.71				
S&P	2,575.26	2.43				
日経平均	22,011.61	▲0.06				
TOPIX	1,765.96	▲4.88				
シカゴ日経先物	22,225.00	315.00				
ロンドンFT	7,493.08	5.27				
DAX	-	-				
ハンセン指数	28,245.54	▲90.65				
上海総合	3,393.34	3.01				
USDJPY 3M Vol	8.20	▲0.15%				
USDJPY 6M Vol	8.84	▲0.15%				
EURJPY 3M Vol	7.68	▲0.03%				
EURJPY 6M Vol	8.92	▲0.07%				

東京 前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に113円台を割り込むと、一時112.98まで下落。同タイミングで本邦9月鉱工業生産(速報値)が発表され、市場予想を若干上回ったものの、マーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は113.02レベルでオープン。日経平均株価が安寄り後、徐々に下げ幅を縮小する動きを横目に、ドル円も113.20近辺まで小幅反発。午後に入り、日銀金融政策決定会合が発表され、金融政策は事前想定通り現状維持を決定。同時に発表された展望レポートでは物価2%目標の達成時期を「2019年度ごろ」に据え置いた一方、2017年度の物価見通しは下方修正(前回+1.1%→今回+0.8%)された。また、2017年度の成長率見通しは若干上方修正(前回+1.8%→今回+1.9%)された。引き続き緩和的なスタンスが確認されたことを受けて、ドル円は113.29まで小幅に反応するも、値動きは極めて限定的。その後は113円台前半で小動きとなり、113.03レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン市場のドル円は113.03レベルでオープン。黒田日銀総裁が「ファンダメンタルズ」に即さない円高が続くと景気に悪影響」と発言したことや、月末のドル買い需要等を背景に堅調に推移。113.32レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1643レベルでオープ。ユーロ圏7-9月期GDP(速報値)が前期比+0.6%、前年比+2.5%(予想:前期比+0.5%、前年比+2.4%)となったものの、ユーロ買いには繋がらず。むしろ、同時に発表された消費者物価指數の上昇率が鈍化(結果:前年比+1.4%、予想+1.5%)したことが意識されてか、1.1625まで小幅に売られ、1.1640レベルでNYに渡った。(ロンドンオフィス 00531 444 179 山本)

ニューヨーク NY時間のドル円は113.32レベルでオープン。朝方は米7-9月期雇用コスト指数(ECI)が予想と一致するも前回から上昇したことや、続いて発表された米10月シカゴ購買部協会景気指數、米10月消費者信頼感指數が予想を上回ったことから、113.53まで上昇。その後は暫く狭いレンジでの推移が続くも、ロンドンフィックスに掛けて月末絡みのドル買いが持ち込まれ、113.73まで続伸。午後はFOMCの結果発表を翌日に控えて狭いレンジでの推移が続いた。終盤に掛けてブレイティ委員長が一部で遅れると懸念されていた翌日発表予定の下院税制改革法案について、予定通り発表することを改めて明言したがドル円の反応は限定的。結局、113.65レベルでNYオープン。朝方は比較的良好な米経済指標結果を受けてユーロドルは1.1627まで下落する。その後は1.1661まで戻す局面があつたものの、FOMCを翌日に控えて上値重く推移し、1.1646レベルでクローズした。(NY 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山本・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月30日	8:50	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	9月 -1.1%/2.5%	-1.6%/2.0%
	10:00	製造業/非製造業PMI	10月 51.6/54.3	52.0/-
	-	日銀金融政策決定会合	-	-
	15:30	黒田日銀総裁 会見	-	-
	19:00	GDP(前期比/前年比)・速報	3Q 0.6%/2.5%	0.5%/2.4%
	19:00	CPI(前年比)	10月 1.4%	1.5%
	21:30	雇用コスト指數	3Q 0.7%	0.7%
	22:45	シカゴ購買部協会景気指數	10月 66.2	60.0
	23:00	消費者信頼感指數	10月 125.9	121.3

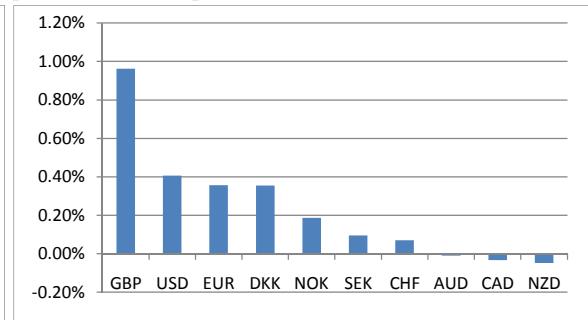
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月1日	10:45	Caixin製造業PMI	10月 51.0	51.0
	14:00	中曾日銀副総裁 講演	-	-
	18:30	マークイット製造業PMI	10月 55.9	55.9
	20:00	MBA住宅ローン申請指數	-	-4.6%
	21:15	ADP雇用統計	10月 200K	135K
	22:45	マークイット製造業PMI・確報	10月 54.5	54.5
11月2日	3:00	ISM製造業景況指數	10月 59.5	60.8
		FOMC	-	1.00-1.25%
				1.00-1.25%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.30	1.1590-1.1700	131.50-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は底堅く推移した。欧州時間序盤、ドル/円は売りが先行し113円を割り込む場面も、同水準では押し目買いが入ると米債利回りに横目に反発、東京時間高値113.29円を抜け買いが優勢の展開。米10月シカゴPMIや米10月消費者信頼感指數が市場予想比良好な結果となったことや、トランプ大統領が「税制改革はクリスマスまでの実施が目標」、「法人税引き下げの段階的導入は検討していない」とコメントしたこともドル買戻し材料とされ、ドル円は一時、113.73円まで上昇した。本日は、方向感の出にくい展開を見込む。本日深夜(明日未明)にFOMC、その後に予想されるFRB次期議長発表を直前に控え、市場は様子見姿勢が強く、東京時間は113円半ばを中心とした小幅推移となりそうだ。